



マーケット・レポート

# Weekly Guide 2026.6.8

りそなアセットマネジメントの  
YouTubeチャンネルで、  
音声付きの解説動画を  
ご視聴いただけます！



## 主要マーケット指標



【出所】ブルームバーグ等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

先週は、予想を大幅に上回る雇用統計を受けて米長期金利が上昇し、株式市場ではAI・半導体関連株に利益確定売りが膨らみました。週間騰落率はS&P500指数が▲2.6% (10週ぶりの反落)、ナスダック総合指数は▲4.7%、独DAX指数▲1.4%、日経平均株価は+0.4%でした。10年国債利回りは、米国が前週末比+9bpの4.53%、ドイツは+10bpの3.04%、日本は+1bpの2.67%に上昇しました。ドル円相場は前週末比1円2銭円安・ドル高の160円29銭と4月29日 (160円41銭) 以来の円安水準で引け、WTI期近は前週末比+3.6%の90.5ドル/バレルに上昇しました。

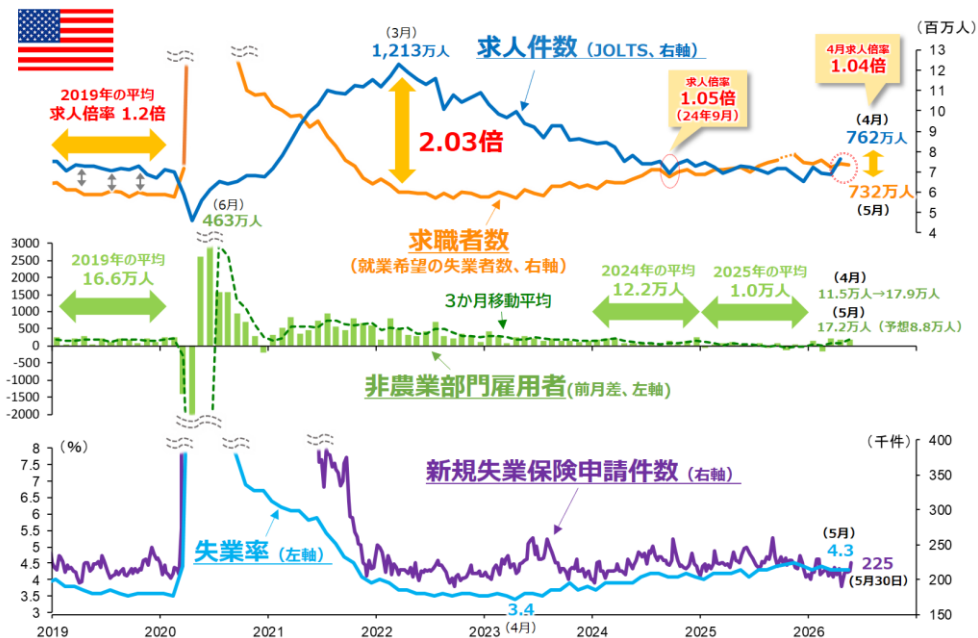
今週・来週は主要国の金融政策会合が相次ぐ中銀ウィークとなります。11日にはECB (欧州中央銀行) の理事会が控えており、2023年9月以来となる0.25%の利上げがほぼ確実視されています。米国・日本では、金融政策への影響が大きいインフレ指標の発表内容が注目されます。

## 当面の注目イベント

- ◆米・5月NY連銀消費者期待インフレ率 (8日)
- ★米・5月NFIB中小企業楽観指数 (9日)
- ◆日・5月企業物価 (10日)
- ◆米・5月CPI (10日)
- ◆欧・ECB理事会 (10~11日)
- ◆米・スペースX (コード:SPGX) 新規上場 (12日)

★：りそな景気先行指数関連指標

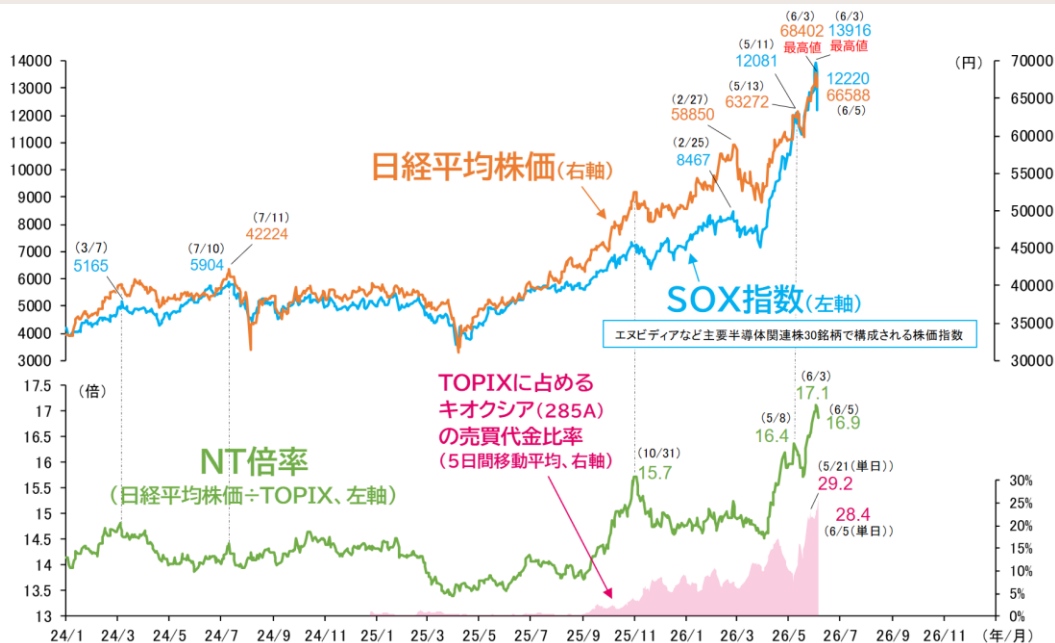
先週末 (5日) 発表された5月米雇用統計は、非農業部門雇用者数が+17.2万人と予想 (+8.8万人) を大幅に上回ったうえ、既報の4月分が+11.5万人から+17.9万人に上方修正され雇用市場の復調を示す内容となりました



【出所】BLS, Haver Analyticsの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

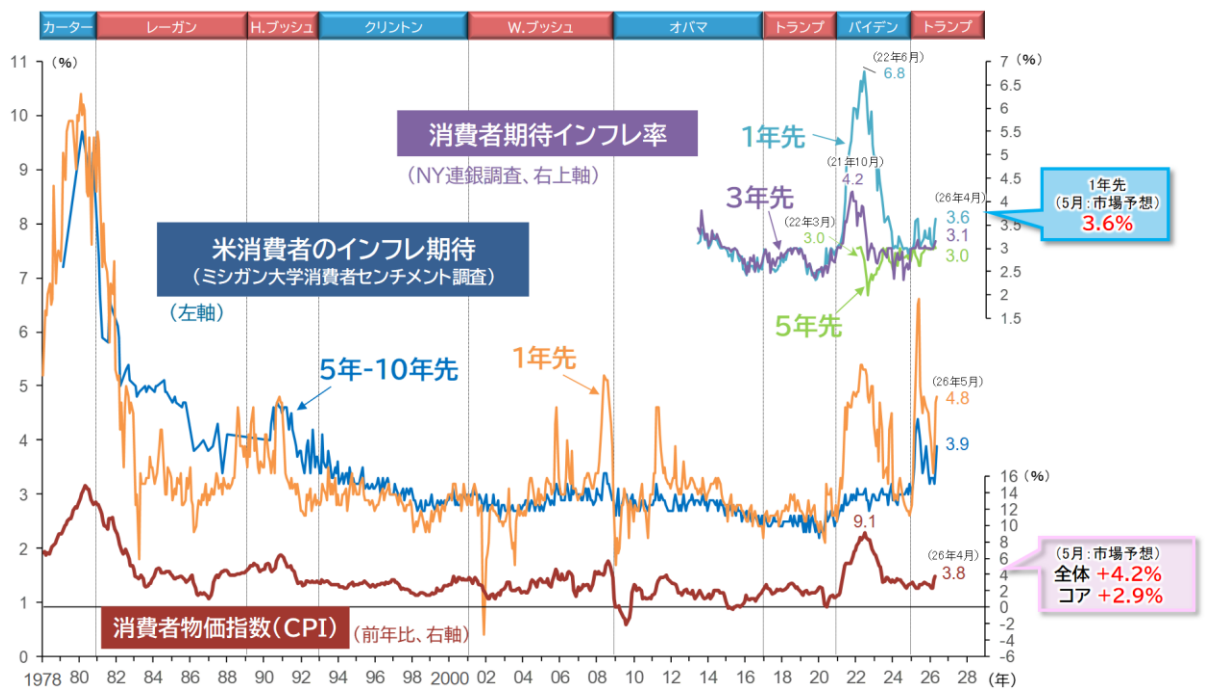
※最終ページの<当資料に関するご留意事項>を必ずご覧ください。

先週末の米国株市場ではAI・半導体関連株が大幅反落しました。日本株市場でも、一部の半導体銘柄に物色が集中するなど過熱感が強まっていたことから、今週はAI・半導体株には利益確定売りが先行すると予想されます



【出所】ブルームバーグの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

FRBが利上げを検討し始めるとすれば、長期の期待インフレ率が上振れ始めた場合と考えられます。今週はNY連銀・5月消費者期待インフレ率が発表されます。3年先・5年先の期待インフレ率動向が注目されます



【出所】Haver Analytics、ブルームバーグの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

次回は 2026年6月15日 発行予定です

### 〈当資料に関するご留意事項〉

■当資料は、りそなアセットマネジメント株式会社が投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、りそなアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。なお、掲載されている見解は本資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は、値動きのある資産を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元本を割り込むことがあります。■投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」および一体としてお渡す「目論見書補完書面」を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。